



元海保官ら派遣「海のシルバー人材センター」

元海上保安官たちを工事に伴う瀬戸内海の海上警戒や海運業者への安全指導講習会などに派遣する一般社団法人「海上安全ネット」(広島市南区)の運営が軌道に乗り始めた。2009年10月に設立された「海のシルバー人材センター」。一線を退いた海上業務のブロの経験を海の安全に生かす受け皿として定着しつつある。

「安全ネット」 順風満帆

安全指導講習会の開催、沿上回るペースだ。岸部の航行実態の調査などの業務を民間の立場で担う。登録するのは8月末現在の約120人。元海上保安官や元海上自衛隊員、元自治体職員たち海上業務経験者で、平均年齢は約65歳となっている。

設立時から登録する呉市海上保安部長。ネットからの派遣で、第2音戸大橋(仮)の建設工事が進む呉市に就いた。「知識と経験を生かせ、やりがいがある」と意気込む。

ネットが請け負った業務は、初年度の09年度は7件だったが、10年度は232件に急増。本年度も8月末時点で138件と前年度を伴う海上警戒は行政から工

事許可を得る際、原則必要だが、人材は不足気味という。現場海域に詳しい地元漁協に委託するケースもある。

▲難所多い瀬戸内海 警戒や講師業務増加

話している。(山崎雄一)